

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	2
学年	1年	教科書	農業と環境(実教出版)		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>①農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めます。</p> <p>②科学的思考力と問題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活躍する能力と態度を育てます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 農業学習と学校農業クラブ	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト学習の方法、学校農業クラブ活動の目標、内容、組織、実践方法について学びます。 栽培プロジェクトを通して、栽培知識・技術を習得し、栽培から調理・加工、持続可能な農業生産、プロジェクト学習を実践します。 レポートの作成をします。
	2 夏野菜の栽培 (1) トウモロコシ・エダマメ(果菜類)の栽培プロジェクト (2) 生産物の調理・加工のホームプロジェクト	
2	3 冬野菜の栽培 (1) キャベツ・ブロッコリー・ジャガイモ・カブ・チンゲンサイ(葉茎菜類・根菜類)の栽培プロジェクト (2) 生産物の調理・加工のホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 栽培プロジェクトを通して、栽培知識・技術を習得し、栽培から調理・加工、持続可能な農業生産、プロジェクト学習を実践します。 レポートの作成をします。
	4 カブの加工実習	
3	5 栽培の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 作物の生理・生態的特性、栽培環境について学びます。 地域の気象、土壌などの環境を観察します。 加工の技術を身に付けます。 レポート、プレゼンテーションを作成します。
	6 環境の調査・保全・創造	
	7 ジャガイモの加工実習	
	8 プロジェクト学習のまとめ	
課題	<p>①各学期ごとに、栽培した野菜とその活用方法のレポートを作成。</p> <p>②栽培している野菜の管理や生育調査。</p> <p>③「農業と環境」の授業と実習中に学んだ重要語句調べ。</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	作物の栽培や家畜の飼育や農業と私たちの生活、そしてこれらを取り巻く環境に関心を持ち、それらの諸課題の解決・改善・向上について探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	栽培・加工に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、プロジェクト学習や栽培・飼育・実験・調査などの目的や結果について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農業	科目	総合実習	単位数	1
学年	1年	教科書	なし		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>①農業の各分野における体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てます。</p> <p>②家庭科に関する専門的な技術を習得し、実践的な能力と態度を養います。</p>
------	---

(上段：農業分野、下段：家庭分野)

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 野菜の栽培に関する内容 (1) 夏野菜の栽培 (果菜類) トウモロコシ・エダマメの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシ・エダマメに関する知識や栽培技術を習得します。 ・調理・加工など、活用法を考え実践します。
	1 家庭科技術検定への取組 (1) 被服製作4級実技の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンと手縫いの基礎縫いを習得します。
2	2 野菜の栽培に関する内容 (1) 冬野菜の栽培 (葉茎菜類と根菜類) キャベツ、ブロッコリー、カブ、チンゲンサイの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ・ブロッコリー・カブ・チンゲンサイに関する知識や栽培技術を習得します。 ・調理・加工など、活用法を考え実践します。
	3 農業情報処理に関する内容 (1) ワープロソフトウェア (2) 表計算ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培に関するデータを適切に処理する能力を身に付けます。 ・農業にパソコンを利用する能力を身に付けます。
3	2 家庭科技術検定への取組 (1) 被服製作3級実技の練習 (2) 食物調理3級実技の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・アウターパンツ製作の知識・技術を習得します。 ・3級の指定調理を作ります。
	4 プロジェクト活動に関する内容 (1) レポートのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト学習に積極的に参加します。 ・活動内容・データを適切に処理し、結論を導き出す力を身に付けます。
	5 農業クラブ活動への参加 (1年間) 意見発表会・農業鑑定競技会に向けての学習	<ul style="list-style-type: none"> ・農業クラブ活動に積極的に参加する姿勢を身に付けます。
課題	<p>①レポートの作成</p> <p>②農業クラブ意見発表会の発表原稿の作成</p> <p>③農業鑑定競技会の事前学習ノートの作成</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	プロジェクト学習に関心を持ち、改善・向上を目指して意欲的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている。
III 技能	栽培・加工・流通に関する基礎的・基本的な技術を身に付け適切に活用している
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、研究の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2
学年	1年	教科書	農業情報処理（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	日本情報処理検定問題集		

学習目標	①社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解します。 ②情報に関する知識と技術を習得します。 ③農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力を育成します。
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 情報の基礎 (1) コンピュータと情報処理 (2) コンピュータのしくみと利用 2 コンピュータによる情報の活用 (1) ソフトウェアと情報の活用 (2) 日本語ワードプロセッサの利用	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアとソフトウェアの概要を理解します。 コンピュータの動作の概要を理解します。 正確な情報収集と記録の重要性を理解します。 情報を活用するソフトウェアについて理解します。 日本語ワードプロセッサの操作技術を習得します。
2	3 コンピュータによる情報の活用 (1) 日本語ワードプロセッサの利用 (2) 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 日本語ワードプロセッサの操作技術を習得し、資格取得に挑戦します。 表計算ソフトウェアの操作技術を習得します。
3	4 コンピュータによる情報の活用 (1) 表計算ソフトウェアの活用 5 農業学習と情報活用 (1) 農業情報の収集・整理・分析 (2) プロジェクト学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアの操作技術を習得します。 農業実習の成果をまとめる方法として、データを収集し処理する能力を身に付けます。 科目「農業と環境」「総合実習」で取り組んでいるプロジェクト学習の内容を情報機器を活用しまとめます。
課題	①農業情報処理の重要語句調べ。 ②「農業と環境」で収集したデータの処理とレポート作成。	

評価の観点	趣旨
I 関心・意欲・態度	目まぐるしく進歩している社会における情報化の進展と情報の意義に関心を持ち、農業と情報技術との関わりについて探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	情報を目的に応じて適切に表現し、管理し、活用することを目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	パソコンやアプリケーションソフトなどの操作能力はもちろんのこと、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、農業情報や環境情報を活用する効果的な手法について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	1
学年	2年	教科書	なし		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>①農業の各分野における体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てます。</p> <p>②家庭科に関する専門的な技術を習得し、実践的な能力と態度を養います。</p>
------	---

(上段：農業分野、下段：家庭分野)

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 野菜の栽培に関する内容 (1) 夏野菜の栽培 (果菜類) スイカ・トマトの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・スイカ・トマトに関する知識や栽培技術を習得します。 ・調理・加工など、活用法を考え実践します。
	1 家庭科技術検定への取組 (1) 食物調理2級実技の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・2級の指定調理を作ります。
2	2 野菜の栽培に関する内容 (1) 冬野菜の栽培 (葉茎菜類と根菜類) ハクサイ、ダイコン、ホウレンソウの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ・ダイコン・ホウレンソウに関する知識や栽培技術を習得します。 ・調理・加工など、活用法を考え実践します。
	3 農業情報処理に関する内容 (1) ワープロソフトウェア (2) 表計算ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培に関するデータを適切に処理する能力を身に付けます。 ・農業にパソコンを利用する能力を身に付けます。
3	5 プロジェクト活動に関する内容 (1) レポートのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト学習に積極的に参加します。 ・活動内容・データを適切に処理し、結論を導き出す力を身に付けます。
	6 農業クラブ活動への参加 (1年間) 意見発表会・農業鑑定競技会に向けての学習	<ul style="list-style-type: none"> ・農業クラブ活動に積極的に参加する姿勢を身に付けます。
課題	<p>①レポートの作成</p> <p>②農業クラブ意見発表会の発表原稿の作成</p> <p>③農業鑑定競技会の事前学習ノートの作成</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	プロジェクト学習に関心を持ち、改善・向上を目指して意欲的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている。
III 技能	栽培・加工・流通に関する基礎的・基本的な技術を身に付け適切に活用している
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、研究の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2
学年	2年	教科書	農業情報処理（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	日本情報処理検定問題集		

学習目標	①社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解します。 ②情報に関する知識と技術を習得します。 ③農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力を育成します。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 コンピュータによる情報の活用 (1) 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアの操作技術を習得します。
2	2 コンピュータによる情報の活用 (1) 表計算ソフトウェアの活用 (2) 日本語ワードプロセッサの活用 (3) プレゼンテーションソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアの操作技術を習得し、資格取得に挑戦します。 日本語ワードプロセッサの操作技術を習得し、資格取得に挑戦します。 プレゼンテーションソフトウェアの特徴と機能を理解します。
3	3 コンピュータによる情報の活用 (1) プレゼンテーションソフトウェアの活用 4 農業学習と情報活用 (1) 農業情報の収集・整理・分析 (2) プロジェクト学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を身に付けます。 農業実習の成果をまとめる方法として、データを収集し処理する能力を身に付けます。 科目「農業と環境」「総合実習」で取り組んでいるプロジェクト学習の内容を情報機器を活用しまとめます。
課題	①農業情報処理の重要語句調べ。 ②「生物活用」で収集したデータの処理とレポート作成。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	目まぐるしく進歩している社会における情報化の進展と情報の意義に関心を持ち、農業と情報技術との関わりについて探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	情報を目的に応じて適切に表現し、管理し、活用することを目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	パソコンやアプリケーションソフトなどの操作能力はもちろんのこと、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、農業情報や環境情報を活用する効果的な手法について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2
学年	2年	教科書	生物活用（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	①園芸作物（主に野菜）の活用に必要な知識と技術を習得します。 ②園芸作物（主に野菜）の特性を活用した活動や療法の特質を理解するとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を身に付けます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 私たちの暮らしと野菜の活用 2 野菜の栽培計画と管理 3 夏野菜の栽培 (1) スイカ・トマト(果菜類)の栽培プロジェクト (2) 幼児との交流活動 (3) イチゴの加工実習 (4) 生産物の調理・加工のホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物のうち野菜を取り上げ、実際に栽培プロジェクトを通して、栽培知識・技術を習得し、栽培から調理・加工・利用、持続可能な農業生産、プロジェクト学習を実践します。 交流活動を企画・実施する能力や必要な技術を身に付け、コミュニケーション能力を高めます。 レポートの作成をします。
2	4 冬野菜の栽培 (1) ハクサイ・ダイコン・ホウレンソウの栽培プロジェクト (2) タマネギの栽培 (3) 幼児との交流活動 (4) 漬け物加工実習 (5) 生産物の調理・加工のホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物のうち野菜を取り上げ、実際に栽培プロジェクトを通して、栽培知識・技術を習得し、栽培から調理・加工・利用、持続可能な農業生産、プロジェクト学習を実践します。 交流活動を企画・実施する能力や必要な技術を身に付け、コミュニケーション能力を高めます。 レポートの作成をします。
3	5 野菜の加工・利用 6 ハーブの活用 7 コンテナ栽培 8 キッチンガーデン 9 プロジェクト学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の貯蔵・加工に関する知識と技術を習得します。 ハーブの栽培に関する知識と技術を習得します。 容器栽培に関する知識と技術を習得します。 キッチンガーデンに関する知識と技術を習得します。 レポート、プレゼンテーションを作成します。
課題	①栽培している野菜の管理や生育調査。 ②「生物活用」の授業と実習中に学んだ重要語句調べ。 ③毎学期栽培した野菜についてのレポートの作成。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	野菜やハーブの栽培や私たちの生活におけるそれらの活用方法に関心を持ち、それらの諸課題の解決・改善・向上について探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	栽培・加工・流通・園芸の活用法に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、プロジェクト学習や栽培・飼育・実験・調査などの目的や結果について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	2
学年	2年	教科書	子どもの発達と保育(実教出版)		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	①子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する知識と技術を習得します。 ②子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てます。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 子どもの発達の特性 2 子どもの発達の過程 保育所訪問実習	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達の特徴について学びます。 子どもの発育・発達の過程やその特徴について学びます。 保育所を訪問し、実習を通して子どもの成長や生活について理解を深めます。
	3 子どもの生活 保育技術検定4級 保育所訪問実習	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の生活と援助の在り方について学びます。 保育技術検定4級の取得を目指します。 保育所を訪問し、実習を通して子どもの成長や生活について理解を深めます。
2	4 子どもの保育 5 子どもの福祉 保育所訪問実習	<ul style="list-style-type: none"> 保育の意義とその方法について学びます。 子どもや親が必要とする社会的支援とその背景について考えます。 保育所を訪問し、実習を通して子どもの成長や生活について理解を深めます。
	①予習・復習…教科書やノートの見直し、検定実技に関する学習 ②夏休み課題…子どもや保育に関する新聞記事等を読んだレポート ③冬休み課題…手作りおもちゃの製作 ④その他 …ノート、プリント、レポート、小テスト、実技テスト	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けている。
III 技能	情報を収集・整理、分類する能力や習得すべき技術を身に付けている。
IV 知識・理解	学習内容を理解し、習得すべき知識や重要な概念等を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2
学年	2年	教科書	準教科書 生活産業基礎（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>① 生活と産業の関わりについて理解し、生活に関連する職業などへの関心を高め、職業観、勤労観を育成します。</p> <p>② 各分野におけるスペシャリストとしての必要な専門の知識・技術を習得しようとする意欲を持つとともに、実践的な態度を育成します。</p>
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 「生活産業基礎」を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と産業について考えます。 衣生活に関わる仕事について理解します。 小物作品を製作します。
	2 衣生活関連分野の産業と職業	
2	3 住生活関連分野の産業と職業	<ul style="list-style-type: none"> 住生活に関わる仕事について理解します。 住宅展示場見学をします。 高齢者や子どもに関わる職業について理解します。 商品やサービスの企画・管理・販売について理解します。
	4 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業	
	5 生活に対応した商品・サービスの提供	
3	6 食生活関連分野の産業と職業	<ul style="list-style-type: none"> 食生活に関わる仕事について理解します。 調理実習を行います。 職業や勤労について考えます。
	7 職業生活と自己実現	
課題	<p>①レポートを作成します。</p> <p>②定期考査ごとにノートを提出します。</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことにより、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	問題意識を持って、生活産業の意義や役割について思考を深めている。
III 技能	生活産業に関連する調査等から情報を整理し、実習内容について理解し、表現することができる。
IV 知識・理解	基礎的・基本的知識を身に付け、生活産業の社会的な意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	3
学年	2年	教科書	ファッション造形基礎（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	①被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識を習得し、洋服・和服製作の技術を体験的に学びます。 ②被服製作技術検定2級（洋服）ブラウス、2級（和服）じんべいの合格を目指します。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 衣服の構成 (1) 人体と衣服 (2) 立体構成衣服と平面構成衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造や機能、寸法や体型など被服との関わりについて学習します。 ・立体構成衣服と平面構成衣服の特徴について学習します。
	2 洋服の製作 (1) ブラウスの製作 (2) 技術検定2級（ブラウス）の検定	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服の製作に関する基礎的・基本的な理論と技術を取り扱い、計画に従って能率的に製作します。 ・ブラウスを検定の規定に従って製作します。 ・検定の事前作業・事後作業をします。 ・検定に合格するための知識・技術を身に付けます。
2	3 衣服の素材 (1) 衣服素材の種類 (2) 衣服素材の性能と選択	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維・糸・布の種類とその特徴、性能について学習します。 ・衣服素材の性質について理解し、用途やデザインに応じた被服材料の選択や取扱いを学習します。
	4 和服の製作 (1) じんべい製作 (2) 技術検定2級（じんべい）の検定	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の製作に関する基礎的・基本的な理論と技術を取り扱い、計画に従って能率的に製作します。 ・じんべいを検定の規定に従って製作します。 ・検定の事前作業・事後作業をします。 ・検定に合格するための知識・技術を身に付けます。
3	5 和服の製作 (1) ひとえ長着の製作 (2) 構成と名称 材料の選択、寸法の見積もりと裁断	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとえ長着を検定の規定に従って製作します。
課題	①実習題材に応じた材料の選択 ②基礎縫いの練習	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・被服材料や被服構成などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組もうとしている。 ・縫製技術に関心を持ち、被服製作に取り組もうとしている。
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作において、適切な仕上がりにつながり縫製技術について考え、工夫している。
III 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して、適切に製作ができる。
IV 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成上の特徴や被服材料の特徴を理解している。

評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）
------	---

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2
学年	第2学年	教科書	フードデザイン 新訂版	(実教出版)	
学科	生活科学科	副教材	調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科研究会)		

学習目標	① 栄養、食品、献立、テーブルコーディネートなどの関する知識と技術を習得します。
	② 生徒自身と家族の食生活について総合的に計画し、営む能力と態度を育てます。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 調理の基本	・調理についての基本的な知識を身に付けます。
	2 フードデザイン実習	・調理についての基本的な技術を身に付けます。
	3 家庭科技術検定2級の実施	・検定2級の合格を目指します。
2	4 料理様式とテーブルコーディネート	・料理様式について理解します。 ・テーブルコーディネート実習を行います。 ・調理実習を行います。
3	5 栄養素のはたらきと食事計画	・各年代の特徴を理解し、献立、調理ができます。 ・調理実習を行います。
課題	① 予習・復習・・・教科書やノートの見直し、検定に関する学習 ② 夏休みの課題・・・ホームプロジェクト (家庭生活に関する問題解決学習) ③ 冬休みの課題・・・生活に関するレポート ④ その他・・・ノート、プリント、レポート、小テスト、実技テスト	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことにより実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	問題意識をもって思考を深め、基本的な知識と技術を基に、適切に判断する能力を身に付けている。
III	技能	基礎的・基本的技術を身に付けるだけでなく、さらに向上させ高いレベルの技術を習得する。
IV	知識・理解	基礎的・基本的知識を身に付け、調理の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	課題研究	単位数	4
学年	3年	教科書	なし		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	①農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習方法を身に付ける。 ②学習活動を通して、専門的な知識と技術を深化、統合化を図ります。 ③問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	プロジェクト学習 1 年間計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ、研究方法について年間計画を作成し、学習方法を理解します。 研究テーマ、研究方法について1学期の計画を作成し、学習方法を理解します。 各テーマに沿った研究を進め、専門教科の深化を図ります。 研究の反省と評価を行い、目標が達成できるように改善する力を身に付けます。 研究テーマ、研究方法について1学期の計画を作成し、学習方法を理解します。
	2 1学期の計画の作成	
	3 プロジェクト学習の実施	
	4 1学期の反省と評価	
	5 2学期の計画の作成	
2	6 プロジェクト学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマに沿った研究を進め、専門教科の深化を図ります。 研究成果を分かりやすく展示するための内容や方法について創造的に考えを深めます。 活動内容を精査し、研究をまとめる力を身に付けます。
	7 農業祭における展示	
	8 プロジェクト学習のまとめ	
3	8 研究成果発表会	<ul style="list-style-type: none"> 発表の機会を通して学習内容の深化・総合化を図ります。 活動内容や専門的な知識・技術の向上を図るための方法についてレポートにまとめ、今後の実践力を身に付けます。
	9 課題レポートの作成	
課題	①事前準備として毎回テーマに沿った活動内容の計画書を作成し提出します。 ②2月の家庭学習期間において担当顧問の指導を受けながら各テーマに沿った課題研究レポートを作成し提出します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	自ら設定した課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	課題解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する能力を身に付けている。
III 技能	研究を進めるに当たり、基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。
IV 知識・理解	研究内容の基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教 科	農 業	科 目	総合実習	単位数	1
学 年	3 年	教科書	なし		
学 科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>①農業の各分野における体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てます。</p> <p>②家庭科に関する専門的な技術を習得し、実践的な能力と態度を養います。</p>
------	---

(上段：農業分野、下段：家庭分野)

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 草花の栽培に関する内容 (1) 春播き1年草の栽培 (2) カーネーションの栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・サルビア・マリーゴールドなどの花壇苗に関する知識・栽培技術を習得します。 ・カーネーション（鉢物の花き）に関する知識・栽培技術を習得します。
	2 草花の栽培に関する内容 (1) 秋播き1年草の栽培 (2) シクラメンの栽培 (3) 木製プランター製作 (4) 寄せ植え	<ul style="list-style-type: none"> ・パンジー・ビオラなどの花壇苗に関する知識・栽培技術を習得します。 ・シクラメン（鉢物の花き）に関する知識・栽培技術を習得します。 ・プランター製作を通して、木工加工に関する知識や技術を習得します。 ・寄せ植えの知識や栽培技術を習得します。
3	1 食物調理1級実技の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・1級の指定調理を作ります。
	3 プロジェクト活動に関する内容 (1) レポートのまとめ 4 農業クラブ活動への参加（1年間） 意見発表会・プロジェクト発表会・農業鑑定競技会に向けての学習	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト学習に積極的に参加します。 ・活動内容・データを適切に処理し、結論を導き出す力を身に付けます。 ・農業クラブ活動に積極的に参加する姿勢を身に付けます。 ・プロジェクト学習の成果を発表する能力を身に付けます。
課題	<p>①レポートの作成 ②農業クラブ意見発表会の発表原稿の作成 ③プロジェクト発表会の発表原稿、プレゼンテーションの作成 ④農業鑑定競技会の事前学習ノートの作成</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	プロジェクト学習に関心を持ち、改善・向上を目指して意欲的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている。
III 技能	栽培・加工・流通に関する基礎的・基本的な技術を身に付け適切に活用している。
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、研究の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	農業	科目	農業情報活用	単位数	2
学年	3年	教科書	農業情報活用（自作教科書）		
学科	生活科学科	副教材	日本情報処理検定問題集		

学習目標	①社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解します。 ②情報に関する知識と技術を習得します。 ③農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力を育成します。
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 身の回りの情報機器	・身の回りの情報機器について理解します。
	2 コンピュータによる情報の活用 (1) プレゼンテーションソフトウェアの活用	・プレゼンテーションソフトウェアの操作技術を習得します。
2	3 農業における情報の活用	・情報が農業においてどのように活用できるかを理解します。
	4 コンピュータによる情報の活用 (1) 日本語ワードプロセッサの活用 (2) プレゼンテーションソフトウェアの活用	・日本語ワードプロセッサの操作技術を習得し、資格取得に挑戦します。 ・プレゼンテーションソフトウェアの操作技術を習得します。
3	5 インターネットを利用した情報発信 (1) ZOOMの活用	・ZOOMの操作技術を習得します。
課題	①プレゼンテーションソフトウェアを活用した作品制作 ②農業情報処理の重要語句調べ。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	目まぐるしく進歩している社会における情報化の進展と情報の意義に関心を持ち、農業と情報技術との関わりについて探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	情報を目的に応じて適切に表現し、管理し、活用することを目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	パソコンやアプリケーションソフトなどの操作能力はもちろんのこと、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、農業情報や環境情報を活用する効果的な手法について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2
学年	3年	教科書	生物活用（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	①園芸作物（主に草花）の活用に必要な知識と技術を習得します。 ②園芸作物（主に草花）の特性を活用した活動や療法の特質を理解するとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を身に付けます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 園芸の活用と効果	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物の活用によりより生活が豊かになり、精神や身体の回復等に効果があることを理解する。 園芸作物の中の草花を取り上げ、栽培プロジェクトを通し、栽培知識や技術を習得し、栽培から利用までのプロジェクト学習を実践する。 交流活動を通して企画や実施する能力や必要な技術を身に付けるとともに、コミュニケーション能力を高める。
	2 春から夏の草花栽培 (1) カーネーションの栽培 (2) 春播き1年草の栽培 (3) 幼児との花壇作り交流実習	
2	3 秋から冬の草花栽培 (1) 秋播き1年草の栽培 (2) シクラメンの栽培 (3) 幼児との花壇作り交流実習	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物の中の草花を取り上げ、栽培プロジェクトを通し、栽培知識や技術を習得し、栽培から利用までのプロジェクト学習を実践する。 交流活動を通して企画や実施する能力や必要な技術を身に付けるとともに、コミュニケーション能力を高める。 プランター製作を通して、木工加工に関する知識や技術を習得する 草花を活用する方法として、寄せ植えの知識や栽培技術を習得する。 専門知識を持った外部講師から、フラワーデザインの知識・技術を習得するとともに、コミュニケーション能力を高める。
	4 コンテナガーデン (1) 木製プランターの製作実習と寄せ植え実習	
	5 フラワーデザイン (1) アレンジメントの基本 (2) フラワーデザイン作品製作実習	
3	6 園芸療法 (1) 園芸療法とその特徴 (2) 園芸療法の実施の基本	<ul style="list-style-type: none"> 園芸療法に関する知識を身に付ける。 交流活動に関する知識や効果的な交流を行う技法やプログラム作成の留意点を理解する。
課題	①栽培した草花や活用についてのレポート作成 ②草花を利用した作品の製作 ③栽培している草花の管理や生育調査	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	草花の栽培・動物の飼育や私たちの生活におけるそれらの活用方法に関心を持ち、それらの諸課題の解決・改善・向上について探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	栽培・加工・流通・園芸の活用法に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、プロジェクト学習や栽培・飼育・実験・調査などの目的や結果について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	3
学年	3年	教科書	子ども文化(教育図書)		
学科	生活科学科(選択)	副教材	なし		

学習目標	<p>①子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術の習得を目指します。</p> <p>②子ども文化の充実を図り、子どもと遊びを通して触れ合うことができる能力と態度を育てます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 子ども文化とは 2 子どもと遊び 幼稚園訪問実習	<ul style="list-style-type: none"> 子ども文化の役割について考えます。 子どもの発達と遊びの意義とその重要性について学びます。 幼稚園での訪問実習を通して子どもの成長や生活、子ども文化について理解を深めます。
2	3 子どもと表現活動 4 子どもと文学 5 現代の子どもの生活と文化 幼稚園訪問実習	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動の役割や重要性とその楽しみを実習を通して学びます。 紙芝居や絵本等の魅力とその選び方や読み方を実習を通して学びます。 テレビやゲームの長所・短所や年中行事の役割や意義について考えます。 幼稚園での訪問実習を通して子どもの成長や生活、子ども文化について理解を深めます。
3	6 子ども文化を支える場 幼稚園訪問実習	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊びや表現活動を支える施設の種類や目的、活用方法について考えます。 幼稚園での訪問実習を通して子どもの成長や生活、子ども文化について理解を深めます。
課題	①予習・復習…教科書やノートの見直し、検定実技に関する学習。 ②夏休み課題…手作りおもちゃの製作。 ③冬休み課題…年中行事と伝承遊びについて調べる。 ④その他 …ノート、プリント、レポート、小テスト、実技テスト	

評価の観点	趣旨
I 関心・意欲・態度	自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けている。
III 技能	情報を収集・整理、分類する能力や習得すべき技術を身に付けている。
IV 知識・理解	学習内容を理解し、習得すべき知識や重要な概念等を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	3
学年	3年	教科書	準教科書 生活と福祉（実教出版）		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	③ 病気の予防や家族の健康管理について、基本的な知識と家庭看護の方法を学びます。 ④ 高齢者について理解し、基本的な介護技術とコミュニケーションスキルを身に付けます。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 健康と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・病気の成り立ちや健康について考えます。 ・年代別の健康に関する課題を理解します。 （高齢者施設との交流実習） ・家庭看護の基本的な技術を学びます。 （血圧測定・ベッドメイキング・移動の介助）
2	2 高齢者の自立生活支援と介護 3 高齢者福祉の制度とサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立と支援の方法を理解します。 ・麻痺や認知症について理解します。 （高齢者施設との交流実習） ・高齢者の現状について理解します。 ・高齢者介護の方法を理解します。 （体位変換・寝間着の交換） （高齢者施設への交流実習）
3	4 生活援助と介護の実習	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者介護の方法を理解します。 （食事介助・清潔の介助） ・高齢者福祉の課題について考えをまとめます。
課題	① レポートを作成します。 ② 高齢者施設との間接交流のための製作物を考えます。 ③ 定期考査ごとにノートを提出します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことにより、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	問題意識を持って思考を深め、基本的な知識と技術を基に、適切に判断する能力を身に付けている。
III 技能	基礎的な介護技術を扱い、要介護者、介護者双方への負荷が少ない正しい介護技術を身に付ける。
IV 知識・理解	基礎的・基本的知識を身に付け、高齢者介護の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。（100点法）

教科	家庭	科目	リビングデザイン	単位数	2
学年	3年	教科書	準教科書 リビングデザイン (実教出版)		
学科	生活科学科 (選択)	副教材	なし		

学習目標	①快適な住空間を計画し、デザインすることを目指します。
	②住生活の文化や環境問題について考えます。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 住生活と住居の変遷	・住居の変遷について学びます。 ・世界の住居や現代の新しい住宅について学びます。
	2 住居と環境	・快適な住環境について学びます。
	3 住居の選択と管理	・家族周期と住居の間取りについて考えます。 ・住情報をもとにより良い住居を選ぶことを考えます。
	4 インテリア	・インテリア小物を製作します。
2	5 インテリア	・インテリアの基本的な知識を身に付けます。 ・リメイクBOXを製作します。
	6 住居の設計図	・平面記号や平面図などについて学びます。
3	7 学習のまとめ	・学んだことを生活に生かします。
課題	①快適な住まい方の実践：夏を快適に過ごす工夫をします。 ②住環境の整備：気持ちのよい住居を実践します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことにより、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	・問題意識を持って思考を深め、基本的な知識と技術を基に、適切に判断する能力を身に付けている。
III	技能	・基礎的・基本的技術を身に付けている。
IV	知識・理解	・基礎的・基本的知識を身に付け、住生活をデザインすることの意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出・記入状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	4
学年	3年	教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>①被服の構成、被服材料の種類や特徴、着装など被服製作に関する知識と技術を習得し、被服を創造的に製作する能力と態度を身に付けます。</p> <p>②被服製作技術検定1級(和服)ゆかた、1級(洋服)ジャケットの合格を目指します。</p>
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 衣服の構成 (1) 人体と衣服 (2) 立体構成衣服と平面構成衣服 2 和服の製作 (1) ひとえ長着の製作 縫製、仕上げ、着装 (2) 技術検定1級(ひとえ長着)の検定	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造や機能、寸法や体型など被服との関わりについて学習します。 ・立体構成衣服と平面構成衣服の特徴について学習します。 ・和服の製作に関する基礎的・基本的な理論と技術を取り扱い、計画に従って能率的に製作します。 ・ひとえ長着を検定の規定に従って製作します。 ・検定の事前作業・事後作業を行います。 ・検定に合格するための知識や技術を習得します。
2	3 衣服の素材 (1) 衣服素材の種類 (2) 衣服素材の性能と選択 4 洋服の製作 (1) ジャケットの製作 (2) 採寸、型紙の基本、デザインと材料の選択、裁断、仮縫いと補正、縫製、仕上げ、着装	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維や糸、布の種類とその特徴、性能について学習します。 ・衣服素材の性質について理解し、用途やデザインに応じた被服材料の選択や取扱いを学習します。 ・裏付きジャケットを検定の規定に従い製作します。 ・検定の事前作業をします。 ・検定に合格するための知識・技術を身に付けます。 ・被服の機能を生かした適切な着装について考えます。
3	(3) 技術検定1級(ジャケット)の検定	<ul style="list-style-type: none"> ・検定の事前作業や事後作業を行います。 ・検定合格するための知識・技術を身に付けます。
課題	①実習題材に応じた材料の選択 ②基礎縫いの練習	

評価の観点	趣 旨
I 意欲・関心・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・被服材料や被服構成、着装などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組もうとしている。 ・縫製技術に関心を持ち、被服製作に取り組もうとしている。
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作において、適切な仕上がりにつながり縫製技術について考え、工夫している。 ・被服の機能を生かした適切な着装について考え、工夫している。
III 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して、適切に製作ができる。
IV 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・被服材料や被服構成の特徴、適切な着装について理解している。
評価方法	<p>各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。</p> <p style="text-align: right;">(100点法)</p>

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	2
学年	3年	教科書	基礎から応用までの作品集作品集 スクールソーイング（開隆堂）		
学科	生活科学科	副教材	なし		

学習目標	<p>①手芸の種類、特徴および変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を身に付ける。</p> <p>②簡単に短時間に製作でき、実用的なものをたくさん作り、手芸の楽しさを味わう。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 手芸の種類と特徴 2 手芸の変遷 3 服飾手芸としての各種手芸の技法	<ul style="list-style-type: none"> ・刺しゅう、編み物、染色、織物、などについて作品を実際に見たり触れたりして、手芸の技法や特徴を学習します。
	4 手芸品の製作 マスク、タペストリー、 エコバック、ランチョンマット まち付き袋	<ul style="list-style-type: none"> ・変遷について理解し、どのような移り変わりを経て現在の生活に活用されているのか、地域の伝統文化と関わりながら考えます。 ・無駄のない布の使い方を工夫します。
2	5 服飾材料としての各種手芸の技法	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾材料としての各種手芸の技法の中から選択して基礎的な技法を習得します。 ・実用的な服飾作品を作ります。
	6 手芸品の製作 刺しゅう作品 編み物作品 季節を彩る小物	
3	7 服飾材料としての各種手芸の技法	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾材料としての各種手芸の技法の中から選択して基礎的な技法を習得します。
	8 手芸品の製作 自由作品	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学んだ各種手芸の技法を活用し、実用的な服飾作品を作ります。
課題	<p>①実習題材に応じた材料の選択をします。</p> <p>②基礎縫いの練習をします。</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸品について興味関心を持っている。 ・基礎的・基本的知識を得ようとしている。
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら早く、きれいに製作することができるかを考え工夫している。 ・工夫したことを実践しようとしている。
III 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・要領よく、適切に製作できている。
IV 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・名称や方法を理解している。
評価方法	<p>各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)</p>

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	4
学年	3年	教科書	フードデザイン 新訂版 (実教出版)		
学科	生活科学科	副教材	調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科研究会)		

学習目標	<p>①栄養、食品、献立、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得します。</p> <p>②食事を総合的にデザインする能力と態度を身に付けます。</p>
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 食品の特徴 2 フードデザイン実習	<ul style="list-style-type: none"> 食品の特徴と性質について理解します。 調理についての基本的な技術を身に付けます。
2	3 調理の基本 4 料理様式とテーブルコーディネート 5 フードデザイン実習 6 家庭科技術検定1級の検定練習	<ul style="list-style-type: none"> 調理についての基本的な知識を身に付けます。 料理様式について理解します。 調理実習をします。 検定1級の合格を目指します。
3	7 フードデザイン実習 8 家庭科技術検定1級の実施	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習をします。 検定1級の合格を目指します。
課題	<p>①予習・復習…教科書やノートの見直し、検定に関する学習</p> <p>②夏休み課題…ホームプロジェクト (家庭生活に関する問題解決学習)</p> <p>③冬休み課題…生活に関するレポート</p> <p>④その他 …ノート、プリント、レポート、小テスト、実技テスト</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことにより、実践的な態度を身に付けている。
II 思考・判断・表現	問題意識を持って思考を深め、基本的な知識と技術を基に、適切に判断する能力を身に付けている。
III 技能	基礎的・基本的技術を身に付けるだけでなく、さらに向上させ高いレベルのものを習得している。
IV 知識・理解	基礎的・基本的知識を身に付け、調理の意義や役割、食品の特徴を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)